

新たな学校の運用体制（案）について

学校統合等を契機とした新たな学校施設環境の整備や、学校と地域・保護者が協働して子どもたちを育てる学校づくりを推進するため、2021年5月に「町田市新たな学校づくり推進計画」（以下「推進計画」という。）を策定しました。

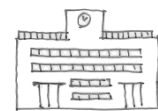
この推進計画に基づき、新たな学校をみんなが集う地域拠点とするとともに、教員が教育活動に専念できる環境とするため、PPP※（パブリック・プライベート・パートナーシップ）を活用した新たな学校の運用体制について検討してまいりますので、別紙のとおり報告いたします。

※PPPとは官民が連携して公共サービスの提供を行う手法のこと。

1 新たな学校の運用体制（案）について

新たな学校を地域拠点とするにあたり、みんなが集う要素を教員負担を軽減しながら追加するとともに、少子高齢化による地域人材の減少にも対応する。これまで町田市が築いてきたコミュニティスクールに、さらにPPPを足すことで、学校でできることの幅を広げて、子どもだけではなく大人も活動のために集ってくる仕組みを作る。

みんながつどう
地域拠点にする



× 学びの幅を広げる
地域の面白さを活かす



= 可能性は ∞

学校ってたのしい◎

〇〇したいが叶う場所

新たなPPPを導入して
実現しよう！



2 新たな学校で
目指すこと

教員が教育活動に
専念できる環境にする

教職員が行う範囲

学級運営 授業 指導

教職員ではなくてもできる範囲

施設開放 建物の維持管理

3 ☆運用体制模式図☆

